

事務事業名	林地崩壊防止事業	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	農林道G	課長名	石飛幸治
施策名	(13) 消防・防災対策の推進	担当者名	伊藤大輔	電話番号 (内線)	0854-40-1053
基本事業名	(039) 危険箇所対策実施	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 310 110 410 011	3710	林地崩壊防止事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22年度 ~ 24年度)	降雨により人家裏山が崩壊し人家に影響を及ぼした場合、その復旧を目的とする。 復旧工法: コンクリート擁壁、簡易法枠、現場吹付法枠 事業費は100万円以上 地元負担は10%・12.5%・15%のいずれか	島根県林地崩壊防止事業実施要領が昭和63年4月30日付け森第37号により制定され開始された。

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画	
① 事業費の内訳(概要)									
【23年災】11箇所(内、4箇所H24へ工事費繰越) 工事費: 20,082千円 委託費: 3,780千円 【22年災(繰越明許)】4箇所 工事費: 11,854千円	事業内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円		30,673	14,805	4,755	50,233	
		地方債	千円		29,900	16,600	5,300	51,800	
		その他	千円		1,537	3,954	1,433	6,924	
		一般財源	千円		4,189	357	35	4,581	
		事業費計 (A)	千円	0	66,299	35,716	11,523	0	113,538
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等) 被害発生→現場確認→採択申請→積算→入札→現場管理→竣工→支出→県検査	人件費	正規職員従事人数	人		5	6			
		延べ業務時間	時間		100	600			
		人件費計 (B)	千円	0	389	2,365	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	66,688	38,081	11,523	0		

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	<ul style="list-style-type: none"> ・23年災11箇所(工事及び委託) ・22年災4箇所(工事) 	ア 事業費(現年)	千円		5,883	23,862	0		29,745
	イ 事業費(繰越)	千円		60,416	11,854	11,523		83,793	
	ウ								
	エ								
	オ								
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)								
	降雨状況等による								

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	被災箇所	⑥ 対象指標							
		ア 申請箇所数(現年)	箇所			4	11		15
	イ 申請箇所数(繰越)	箇所			13			13	
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	被災箇所の復旧	ア 完了箇所数(現年)	箇所			7		7	
		イ 完了箇所数(繰越)	箇所		13	4	4	21	
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
上位目的	生命・財産を火災・災害から守る。	ア 災害による年間人的被害者数	人		0	0	0	0	
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし

事務事業名	林地崩壊防止事業	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 人家裏山の山林崩壊の復旧事業であり、降雨時も安心して暮らせる環境作りとなる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 住民が安心して生活できる環境整備へとつながるため妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 被害発生の受益者からの申請による。採択要件を満たすものだけを対象としており、対象が妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 被災箇所への精査により法面の安定を図るための工法を選択している。受益者の負担が大きくない範囲で復旧している。よって、向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 受益者が全てを負担しての復旧になり負担が重くなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 人家裏山の崩壊に対する復旧事業はこれのみである。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 受益者負担があることから、負担可能な範囲での事業費決定としている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現場管理を考慮すれば削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 申請により対応している。受益機会は均等である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	人家裏の施工性の悪い場所での復旧工事が多くなる。早期復旧に努め、生活の安全が確保された。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
特になし																							